

今日のトピック 豪中銀は債券買入れプログラムの終了を決定 市場の次なる焦点はバランスシート縮小と利上げへ

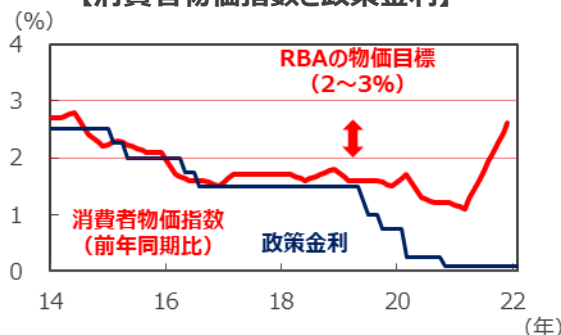
ポイント1 豪中銀は量的緩和終了を決定 政策金利は据え置き

- 豪州準備銀行（RBA）は2月1日の金融政策決定会合で、債券買入れプログラムについて2月10日の買入れをもって、さらなる買入れを停止すると決定しました。一方、翌日物金利の目標は0.1%を維持しました。

ポイント2 量的緩和の経済下支えを評価 政策金利の引き上げには慎重な姿勢

- 声明文では、債券買入れプログラム終了の背景として、労働市場の力強い回復や、物価がRBAのインフレ目標（2～3%）に合致していること、他の中央銀行の量的緩和終了に向けた動き、などを挙げています。
- また、新型コロナウイルスのパンデミックが始まって以来、量的緩和政策によって、RBAのバランスシートはそれ以前の3倍以上に拡大しています。RBAはこれが豪州経済を下支えしているとする一方、今後は5月の金融政策決定会合において、満期を迎える債券の償還金の再投資について検討する予定であることを明かしました。
- ただしRBAは、物価は目標範囲に達しているものの、持続的に収まったと見るのは時期尚早ともしており、政策金利の引き上げには慎重な姿勢を示しました。

【消費者物価指数と政策金利】



(注) 消費者物価指数は2014年1-3月期～2021年10-12月期。変動の大きい項目を除外したトリム平均値。
政策金利は2014年1月～2022年2月。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【豪ドル円レートと豪日金利差】



(注) データは2019年7月1日～2022年2月1日。
豪日金利差は2年国債利回りの差。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開 市場の次なる焦点はバランスシートの縮小と利上げへ

- 今回の決定を市場はハト派的と捉え、会合後に豪ドルは一時下落しました。しかしその後は、世界的な株式市場の上昇を受けたりスクオンの流れにより、豪ドルは上昇に転じました。RBAのロウ総裁は、債券買入れプログラムの終了は早期の利上げを意味するものではないと強調しています。しかし市場では、5月にも予定されるバランスシート縮小の議論と、利上げに焦点が移りつつあります。足元では、新型コロナウイルスのオミクロン型の感染拡大が一時的に経済に影響を与えているものの、今後も景気回復基調は続くと考えられます。景気回復につれて、今後は賃金上昇圧力も強まると見られ、労働市場の動向にも注目です。

ここも チェック!

2022年1月27日 FRBはFOMCで3月利上げを強く示唆

2022年1月26日 IMFは世界経済見通しを+4.4%に下方修正

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。